

<施設の概要>
 所在地：埼玉県熊谷市大字上川上300
 フィールド面積：23,394㎡
 スタンド建築面積：16,392.28㎡
 スタンド延床面積：33,870.58㎡
 スタンド構造・規模：RC造、一部PC造、屋根S造・地上4階建て
 収容観客数：15,392席
 建築主：埼玉県
 設計・監理：(株)東畑建築事務所
 施工：建築/第1工区 戸田・横尾・和光・高野建設共同企業体
 第2工区 熊谷・コーディケー・寄居・時田建設共同企業体
 電気/きんでん・中村・積田・熊谷建設共同企業体
 竣工：平成15年5月

照明制御システムにより各競技種目の照度レベルに応じた適切な点灯パターン制御を実現。外部への光漏れにも配慮

■多目的でバリアフリーなスポーツ施設

熊谷スポーツ文化公園陸上競技場は、全天候型400mトラック9レーン、走り幅跳び、三段跳び走路4本、棒高跳び走路2本を備えた日本陸上競技連盟公認の第一種(多目的)競技場で、陸上競技のほか、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールの利用も可能な国内最高水準に匹敵するスポーツ施設です。全周に渡る段差のないコンコースなどバリアフリーを徹底するとともに、雨水の利用やシャワー熱源への太陽熱利用等で環境に配慮しており、2004年開催の第59回国民体育大会「彩の国まごころ国体」および、第4回全国障害者スポーツ大会のメイン会場になっています。

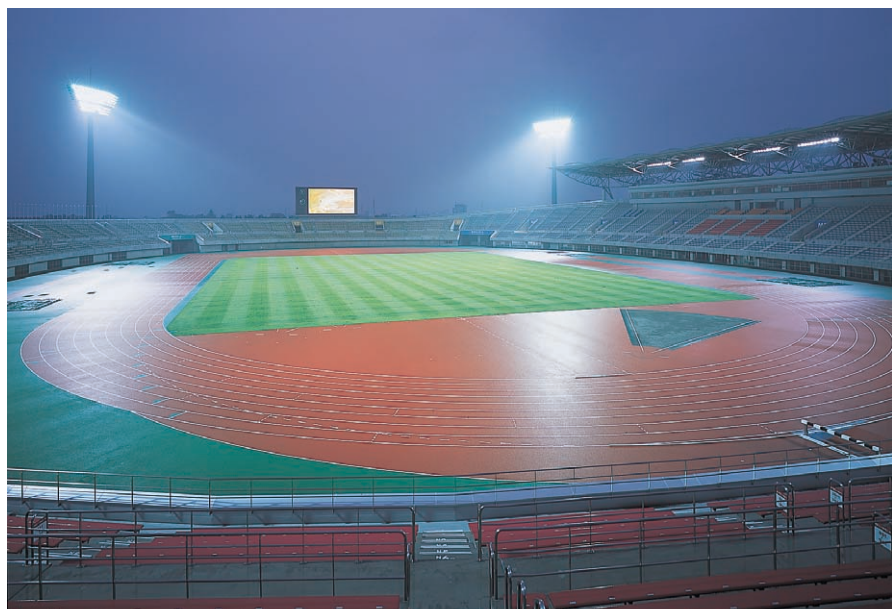
照明設備には、経済性の高い1.5kWロングアークメタルハライドランプと高出力・高効率・高演色である2kWショートアークメタルハライドランプを採用。全点灯時2194lx(初期)で、JIS基準および国際サッカー連盟の基準を満たすとともに、第一種陸上競技場認定に必要なフィニッシュライン照度も規定値1500lxに対し、2617lx(初期)が確保されています。

公式・一般競技からレクリエーションレベルまでは1.5kWロングアークメタルハライドランプを使用し、より国際的で大規模なイベントでは2kWショートアークメタルハライドランプとの混光により競技空間を色鮮やかに照明するとともに、光漏れを考慮した2kW投光器の採用により、外部への光漏れの少ない照明環境を実現しています。また、より多目的な要求に応えるべく、照明制御システムにより用途や各競技種目の照度レベルに応じた適切な点灯パターン制御により幅広い照度レベル(1500lx、1000lx、500lx、350lx)への対応が可能となっています。

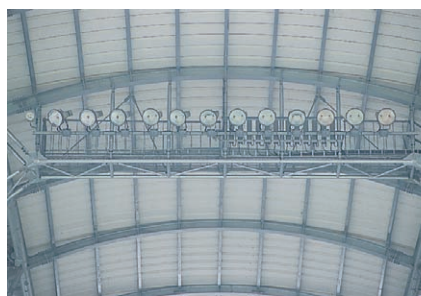
■照明コンセプト

Lighting design concept

- より多目的な要求に応える幅広い照度レベル制御
- 混光照明による色鮮やかな競技空間の実現



競技場内全点灯時：1.5kWロングアークメタルハライドランプ投光器と2kWメタルハライドランプ投光器を採用



器具設置状況①(メインスタンド屋根部1スパン分)



サイドスタンドに設置された大形映像表示装置



器具設置状況②(照明塔No.3)



主操作盤前面

■主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
スタンド	投光器	HT-15262X(改)	240台	1.5kWロングアークメタルハライドランプ
	投光器	HT-20014M(改)、13N(改)	276台	2kWショートアークメタルハライドランプ
	投光器	QT-5050M(改)	48台	500Wハロゲンランプ
メインスタンド屋根部	投光器	20013W(改)	44台	2kWショートアークメタルハライドランプ
	投光器	QT-5050M(改)	8台	500Wハロゲンランプ